

那須100年コミュニティ



2015年11月5日

生きがいを共有しあえる 「100年コミュニティ」の実現を目指して

「100年コミュニティ」とは、子の世代、孫の世代まで継続して残したいと思える「場」を創造する意思の表れです。

自分たちが自分らしく最後まで尊厳を持って暮らせる「生活環境」を残し、継承していきたい。そのために自分たちは今何ができるのか、継承・継続していくために何を創ればいいのか、という問題意識から生まれてきたものです。

<スローガン>

- **元気が出る地域づくりをサポートします。**

さまざまな団体、自治体、会員の皆さまと共に、「郊外地域再生型モデル」、「都市再生型モデル」、「団地再生型モデル」事業に取り組んでいきます。

<目指すもの>

- **地域に根ざした「多世代コミュニティ」の創生**



- * 有形の安心から
無形の安心へ。
- * 消費する生活者から
生産もする生活者へ。
- * 自然を消費する生活から
自然と共生する暮らしへ。

立松和平さんのメッセージ

那須は土地空間が広く、巨大なキャンパスのようなところである。その場所に、どんな未来を描こうとするのか。未来といっても、絵空事のプロジェクトではなく、私たちが現実どんな生活をすればよいのかの確かな提言がなくてはならない。

生活をするとは、仕事をし、仲間をつくり、コミュニティを形成し、老後をむかえるということである。人生のプラス面もマイナス面もすべて引き受けるのが生活するということなのだ。

生き方まで提言する建築とは、設計者にとってはまことにやりがいのある仕事ではないか。人がすべて幸福になる建築とは、明晰な展望と、深い思想性が求められる。理想に形を与える仕事であると私は思う。

仕事・交流・生きがい生まれる共に暮らすインフラと仕組みづくりにより低価格の暮らしを実現。

「暮らしに、自分に、自然な生活」

- 働きながら、自由に暮らす
- 健やかに、安心して暮らす
- 自分らしく、気ままに暮らす

暮らし、環境、生きがい、仕事、健康…
那須プロジェクトは、すべてが人にやさしく、
有機的につながる“結い”のコミュニティづくりです。

<コンセプトを生み出す、コミュニティ環境>

- 懐かしい里山の風景が残る、那須の豊かな自然環境
- 医療・介護のサービスと連携した安心の暮らし
- 地元の有機農場と連携した農業体験や就農
- 統合医療を取り入れた健康の維持
- 快適で人に優しい“現代版長屋”、環境共生型の木造低層住宅
- 入居者の希望をカタチにしていく「参加型」コミュニティづくり

ゆいま～る那須



所在地	栃木県那須郡那須町大字豊原乙字那須道下627-115他
敷地面積	9,978.05㎡
建築面積	3,561.04㎡
構造規模	木造： A棟1階建、B棟：2階建、C棟：1階建、D棟2階建、E棟2階建
総戸数	70戸
住戸専有面積 間取り	33.12㎡～66.25㎡、1R～2LDK
開設	1期： 2010年11月(18戸) 2期： 2012年1月(52戸)

※ 高齢者住まい法改正により、「適合高齢者専用住宅」を「サービス付高齢者向け住宅」として登録

サービス付き高齢者向け住宅＋終身建物賃貸借

【主な特徴】

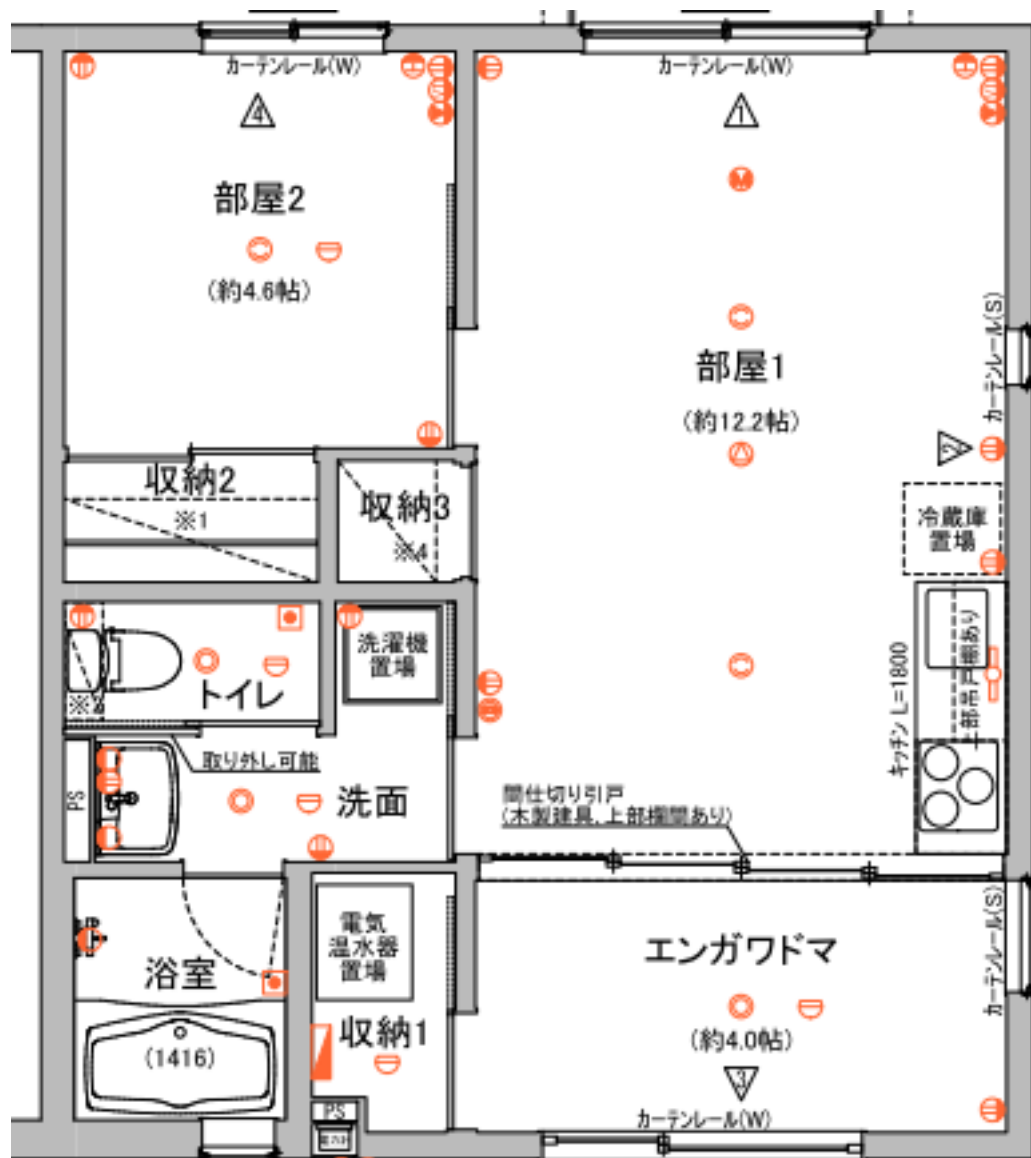
- 里山、木のぬくもりのある戸建風建物
- 平成21年度 第1回高齢者居住安定化モデル事業選定事業(一般部門)に選定
- 働きながら暮らす、仕事づくり(居住者、地域住民)
- ゆいま～る那須倶楽部(別荘感覚で利用できる仕組み)
- 文化や音楽、交流を楽しめる図書室・音楽室・自由室
- 地域に開かれた「ゆいま～る食堂」(直営)
- 送迎車ゆいま～る号(入居者が寄贈)

ゆいま～る那須 ～共用スペース～



集まりすぎず、散らばりすぎず 「わ」になって暮らす～

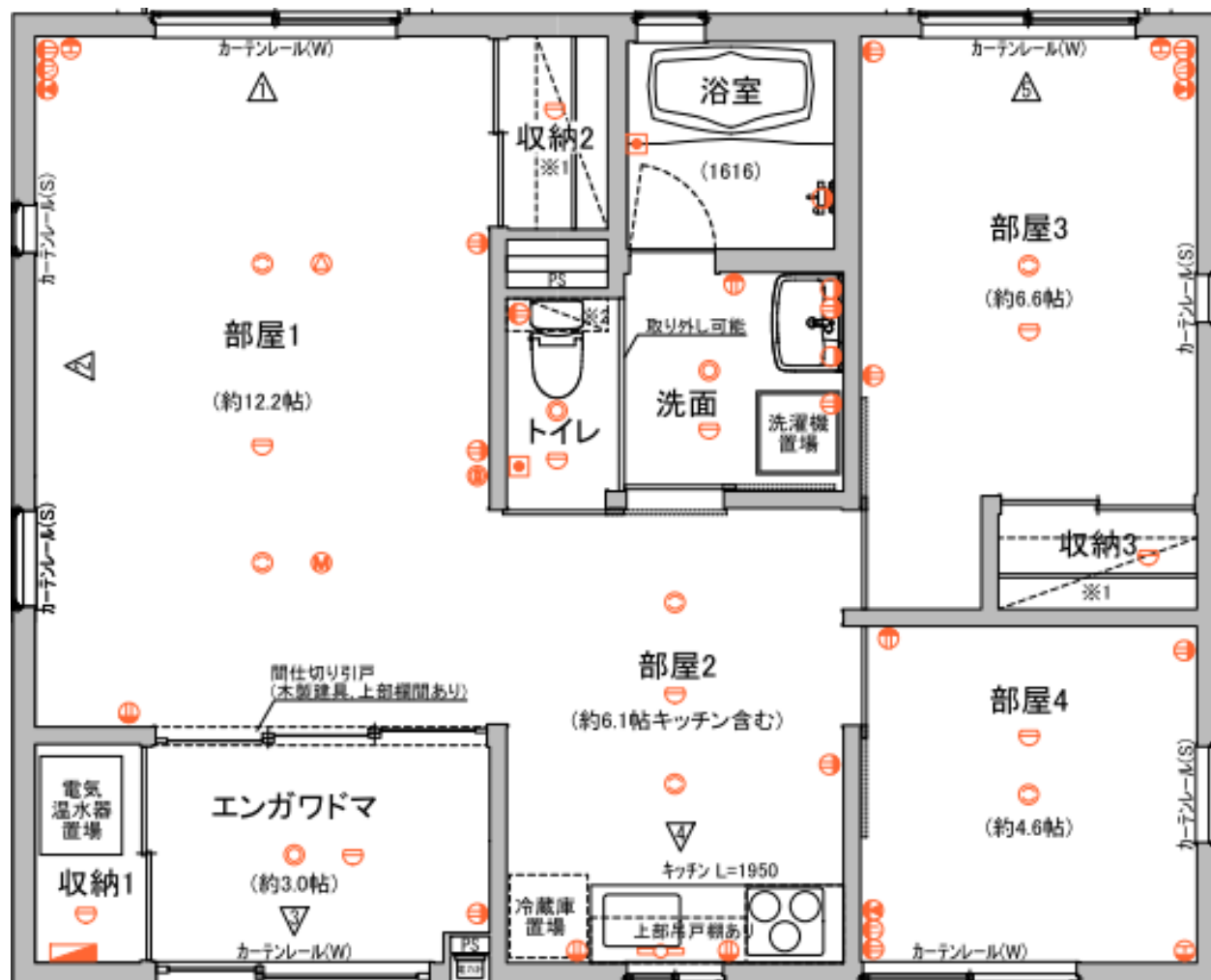
ゆいま〜る那須の暮らし ～居室～



【14坪 Bタイプ】

面積：46.37㎡(14.03坪)

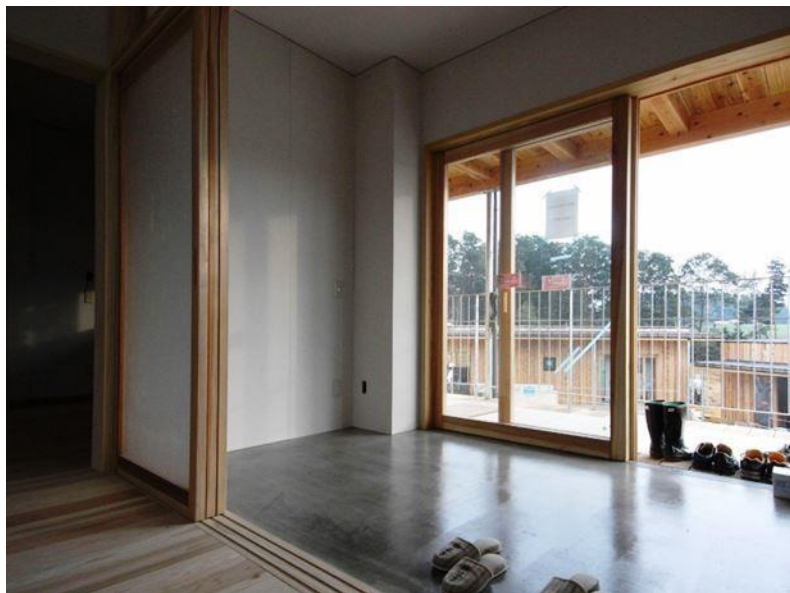
ゆいま〜る那須の暮らし ～居室～



【20坪 Cタイプ】 面積：66.25m²(20.03坪)

ゆいま～る那須 ～自然素材を使った住戸～

- 縁側と土間を要素を併せ持つ エンガワドマ
- 壁・天井：調湿性あるモイスを使用



- 床：無垢の厚さ30mmの杉板
地元の「八溝杉」使用

ゆいま～る那須 ～都心からの移住～

1. 入居状況

- 総居室数: 70戸
- 入居者数: 78名 (一人入居: 58名 二人入居: 10組20名)
- 入居者男女比: 男19名(25%) 女56名(75%)
- 入居者平均年齢: 男69.6歳 女71.7歳 **平均年齢70.7歳**

2. 従前住所及び出身地

- **関東圏: 54名 (東京都、神奈川県、埼玉県、千葉など)**
- **関西圏: 7名 (大阪府、神戸市など)**
- 福島県: 8名
- 那須町: 2名
- その他: 7名 (北海道、新潟県、静岡県、岩手県、佐賀県)

2015年3月末

ゆいま～る那須 ～ゆいま～る那須ができるまで～

- 2007年 7月 「那須プロジェクト実行委員会」スタート
- 2008年 6月 情報を掲載した「那須通信」発行開始
- 7月 現地見学会スタート
- 8月 設計コンペを開催
- 2009年 2月 「那須での暮らしを考える会」スタート
- 9月 「ゆいま～る那須友の会」スタート、部会スタート
- 2010年11月 第1期「ゆいま～る那須」オープン
- 2012年 1月 第2期「ゆいま～る那須」オープン

* 全体構想(残り2/3)に向けて計画が進行中。

コミュニティの創造 ～参加型のハウスづくり～



左：プランの段階から土地見学会を開催し、暮らし方をイメージ

左下：地域を歩き、地域を知るイベント

下：コンセプトや間取りの特徴を学ぶ設計勉強会



コミュニティの創造 ～参加型のハウスづくり～



写真左下：中庭づくり

写真右上：植木見本見学（各棟の中庭に植える
シンボルツリーを検討）

コミュニティの創造 ～雇用の創出・生きがいづくり～

1. ハウス内外での仕事

- 生活コーディネーター(ハウススタッフ): 地元住民、入居者
- 食堂: 地元住民、入居者
- 送迎: 入居者
- 併設のデイサービス: 地元住民、入居者
- 元の職業を活かした仕事
- 趣味を活かした仕事

2. ハウスでの役割(部会)

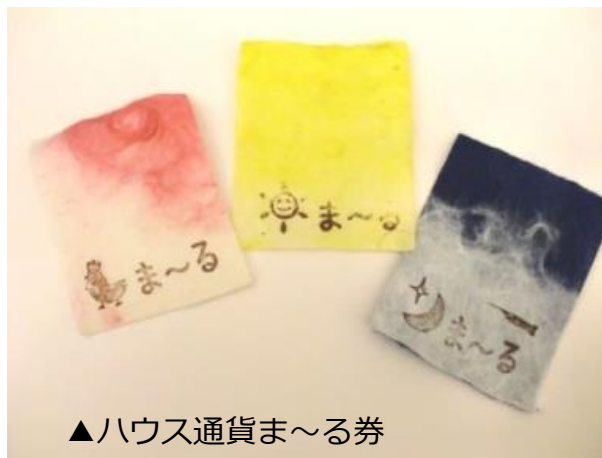
- 農部会
- グリーン部会
- 図書部会
- 広報部会 など

コミュニティの創造 ～ 雇用の創出(これまでの経験を活かして)～

▼美容師



▲そば打ち職人



▲ハウス通貨ま〜る券



▲運転手



▲美容師

コミュニティの創造 ～雇用の創出・生きがいづくり～



居場所を自分たちでつくる(障子貼り)



作品や地域の良品を販売

お弁当づくり



コミュニティの創造 ～できること・やりたいこと～



▲庭仕事

▼ 「森林ノ牧場」の牛の世話



▼ 「森林ノ牧場」のカフェのお手伝い



コミュニティの創造 ～できること、やりたいこと～



▲積み木づくり



▲積み木を販売



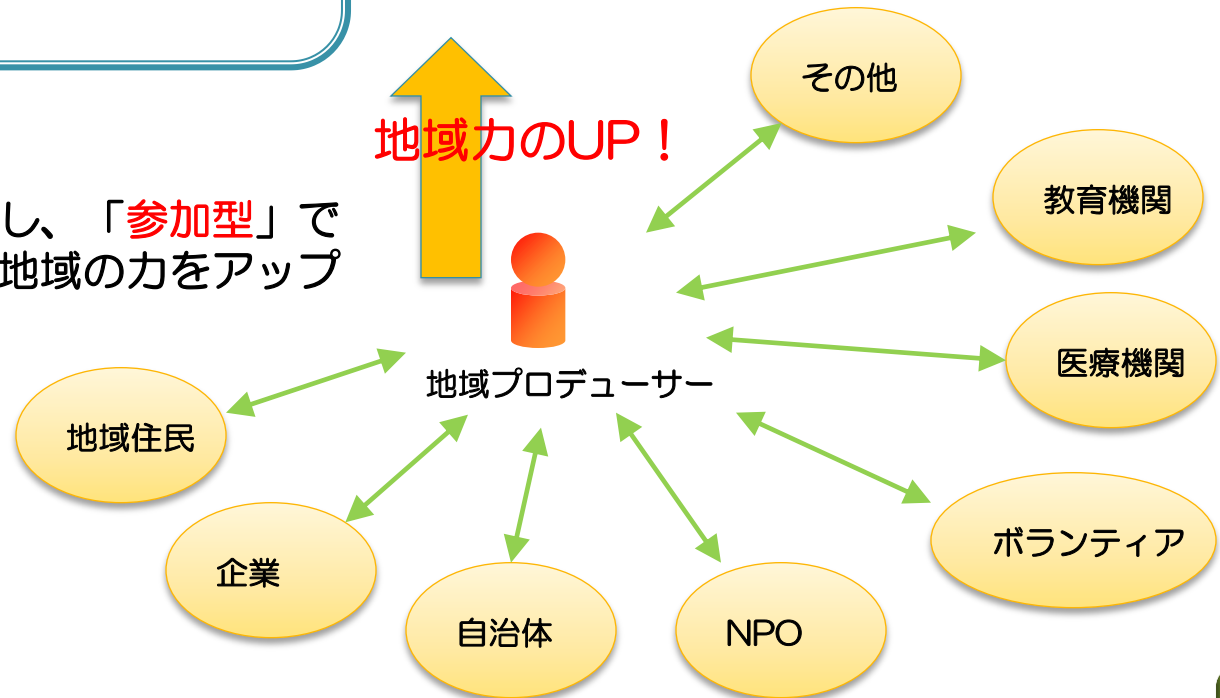
▲勉強会の開催（環境文化講座）

人材育成 ～地域プロデューサー～

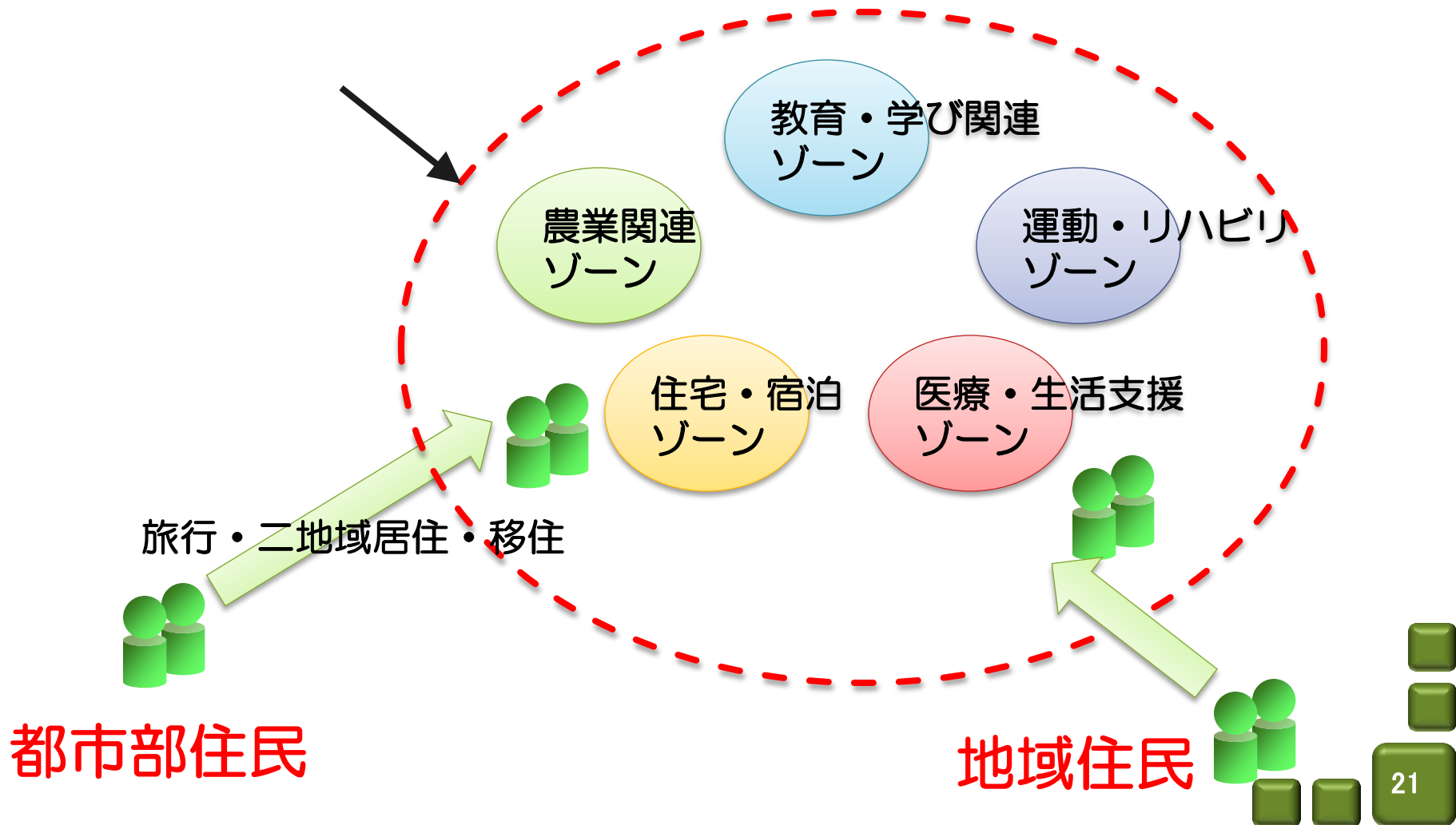
地域にある「ひと・もの・かね」などの資源をつないで、未来図を描き、自らリーダーとなって地域をデザインしていく、地域づくりのスペシャリスト。

- イメージを提案し、方向性を示していく。
- ニーズを把握し、専門家の能力を活用し、問題解決に導く。
- 夢とそろばんのバランスをとる。
- 住民も問題解決できる力を持てるように主体性を育む。

様々な組織、個人と連携し、「参加型」で地域の問題解決を図り、地域のをアップさせる。



仕事・交流・生きがいが生まれる
共に暮らすインフラと仕組みづくり



24時間365日スタッフが常駐

- 毎日の安否確認や、何かあった時に相談。室内には緊急通報ボタンがあり、いざという時にスタッフが駆けつける 安心の体制です。

健康管理・医療・介護のサポート

- ヘルパーの手配、家事援助、通院などの付添など個別に対応します。

保証人がいなくても契約可能

- 別途200万円で入居契約ができます。任意後見人を立てていただきます。

ペットと暮らせます

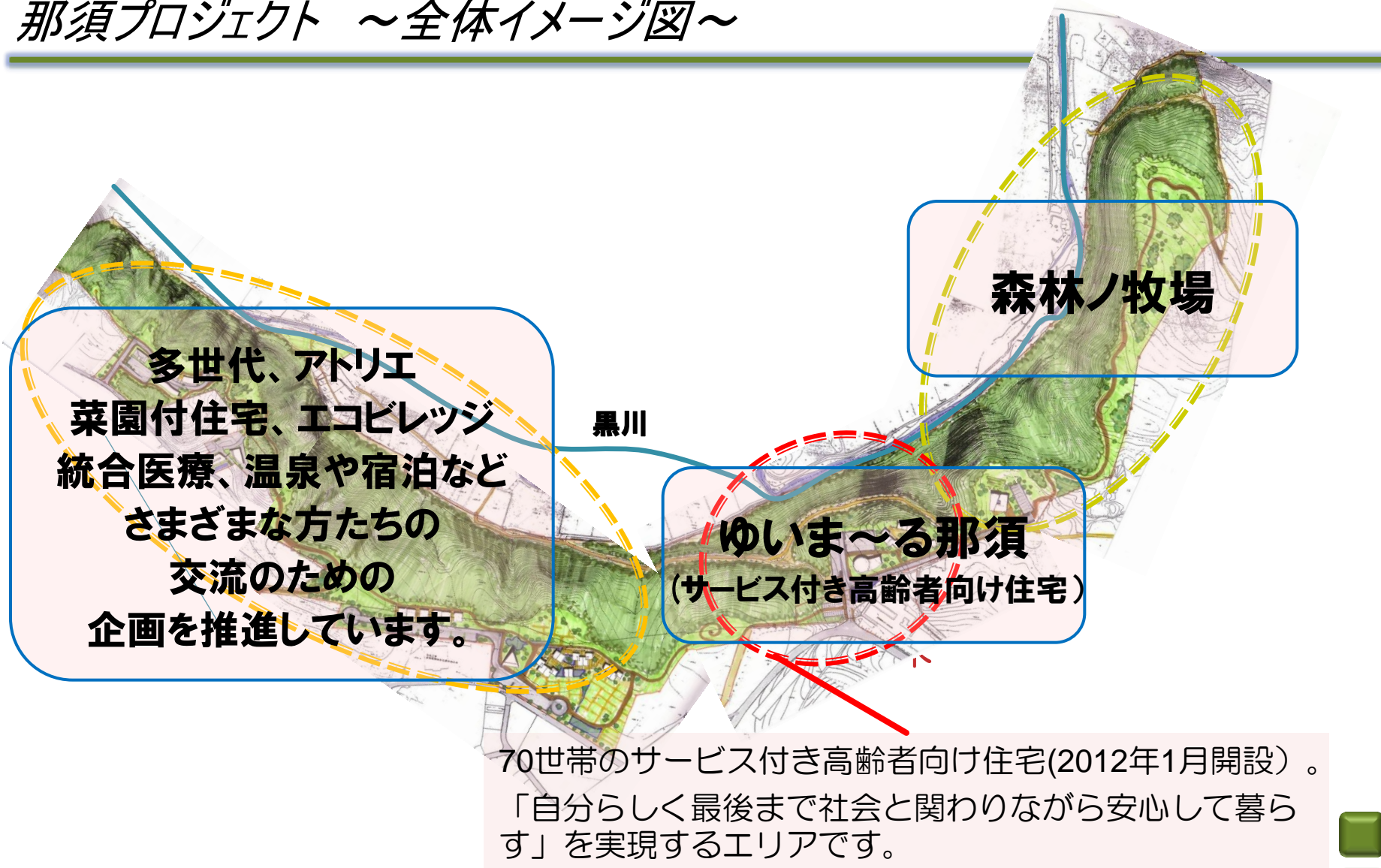
- 共有スペース・エレベーターへのペットの立ち入りなど動物嫌いな方にも負担にならないルールづくりを進めます。

充実の完成期をみなさんとともに

- 自分らしい“完成期”をつくるための環境づくりをしていきます。



那須プロジェクト ~全体イメージ図~



生涯活躍のまちを考える上で欠かせないこと

- 地域包括ケアの構築
 - 地域の状況によって進めやすい方法で
- 住まいの提供
 - 空き家活用
 - 既存施設活用
 - 公有地活用 など
- 地元の理解
 - 地域住民の参加
 - 地域の事業者・NPOなどの参加
 - 議会の理解
 - 生涯活躍のまちによって地域が良くなることが見える
- 事業の継続性